

令和8年度 佐賀市立川上小中学校 教育課程

1 学校教育目標

みんなが笑顔の楽しい川上～「自分大好き 友だち大好き 川上大好き」な児童の育成～

2 本年度の重点目標

- ①基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上
- ②自他のいのちを大切にできる子どもの育成
- ③多様性が当たり前となる学校生活の実現
- ④夢や目標をもち、学び続けることができる子どもの育成

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

◎基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上を図る。

- 学習環境の整備…すべての子どもたちが落ち着いて学習に取り組むために、物理的環境、人的環境、文化的環境を整える。
- 学び方の指導・支援…自ら課題をもち、見通しをたて、解決しようとする力を育てるための指導・支援の工夫に努める。【主体的な学び】
- 表現力の育成…教科の学習はもちろん特別活動や学校行事等あらゆる教育活動において、自分の思いや考えを適切に表現する力を養うための手立てや場の保障に取り組む。【対話的な学び】

(2)生徒指導の充実

◎自他のいのちを大切にできる子どもの育成をめざす。

- 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成…場面に応じた挨拶、言葉遣いの徹底を図るとともに児童がルールを自分事として捉え納得感をもって行動できるような指導・支援を行う。
- 発達支持的生徒指導の推進…挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び授業や学校行事等を通じた個と集団への働きかけを通して、子どもの成長・発達を支える。
- 安心安全の確保と学びの工夫…自然災害、事件事故等の外的要因における危険、いじめ・差別等内的要因における危険を予測する力や最善の行動を選択する力を育てる。

(3)特別支援教育の充実

◎多様性が当たり前となる学校生活を実現する。

- 相談体制・支援体制の充実…特別支援教育コーディネーター、教育相談担当、生徒指導主事が連携し、個に寄り添った支援をチームで行う。
- 教育のUD化…障がいの有無にかかわらず、全員が「わかる」授業を目指す。
- 専門性の向上と外部連携の深化…職員が「すべての子どもが、その子に合った方法で、排除されることなく共に学ぶ」という概念を正しく理解し、実践する力を養う。

(4)志を高める教育の充実

◎夢や目標をもち、学び続けることのできる子どもの育成

- 地域人材を活用した教育活動の工夫と整備…様々な立場や年齢の人たちとの出会いを通じて、多面的・多角的な価値を学ぶ活動を仕組む。
- 「ふるさと学習」の充実…地域を誇りに思う学習の効果的な単元づくりと実践。
- 自治的活動の充実…発達段階に応じて「自分たちの学校生活を自分たちでよりよくしていく力」を身につけさせる。